

(報告) 多核種除去設備等処理水希釈放出に関する設備設置に必要な環境整備工事等の進捗状況について

2022年3月31日

TEPCO

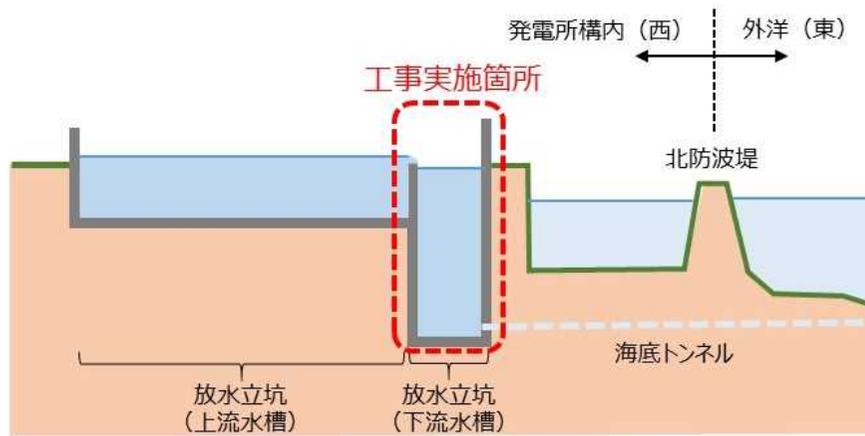
東京電力ホールディングス株式会社

1. 陸上の環境整備工事の進捗状況と今後の実施予定

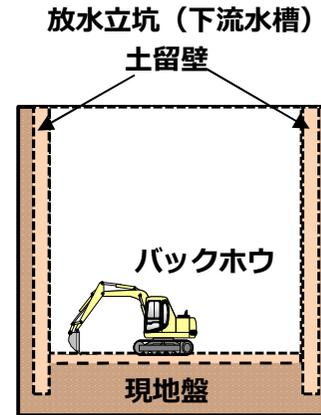
- 多核種除去設備等処理水の取扱いについては、政府の基本方針（2021年4月に決定）を踏まえ、安全性の確保を大前提に、風評影響を最大限抑制するための対応を徹底するべく、設備の設計や運用等の検討の具体化を進めています。
- そのうち、放水設備では、ALPS処理水を海水で希釈し、トリチウムを含むすべての放射性核種の告示濃度比総和が1を下回った水を放水トンネルを經由して約1km離れた放水口から放出する案とし、「福島第一原子力発電所特定原子力施設に係る実施計画変更認可申請書」を2021年12月21日に原子力規制委員会に申請しました。
- 5・6号機取水口付近における陸上の環境整備工事は、海底トンネル設置および放水に必要な立坑（下流水槽）の土留設置を2021年12月4日に開始し、2022年1月22日に完了した後、同年2月7日より立坑部の掘削を開始しました。
〔2022年2月24日までにお知らせ済み〕

- 5・6号機取水口付近における陸上の環境整備工事のうち、立坑（下流水槽）の掘削は3月4日に完了し、引き続き立坑底面部の整地等の作業を実施しています。
- 3.16福島県沖地震により、陸上の環境整備工事を実施中のエリアにおいて、作業中の立坑内部に被害はありませんでした。なお、地震による影響で周辺エリアの一部地表面で地割れや沈下が発生しました。
- 今後、地割れ箇所の復旧作業を行い、準備が整い次第、立坑（上流水槽）の土留・掘削等を実施する予定です。
- 引き続き気象等の状況を見ながら、安全最優先に進めてまいります。

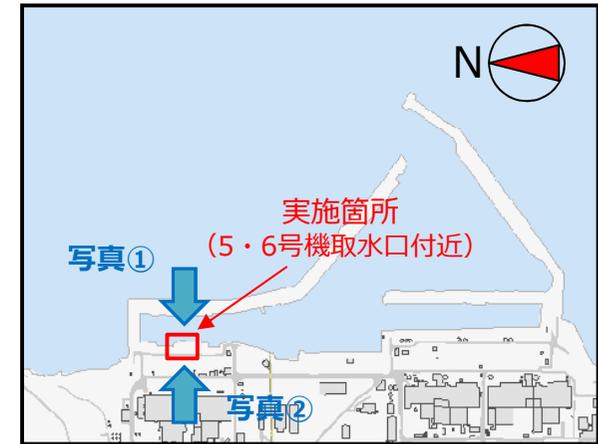
2. 陸上の環境整備工事 進捗状況



工事実施箇所 断面図



工事実施イメージ図



工事実施箇所 位置図



写真① 立坑掘削状況



写真② 立坑掘削完了

3. 3.16福島県沖地震による被害状況と対策

■ 被害状況

- 陸上の環境整備工事を実施中のエリアにおいて、作業中の立坑（下流水槽）内部に、被害はありませんでした。
- 地震による影響で、周辺エリアの一部地表面で地割れや沈下が発生しました。

■ 応急復旧対策

- 地震による影響緩和を図るため、地割れ箇所にスラリー材の充填や地盤改良等を実施します。

■ 恒久対策

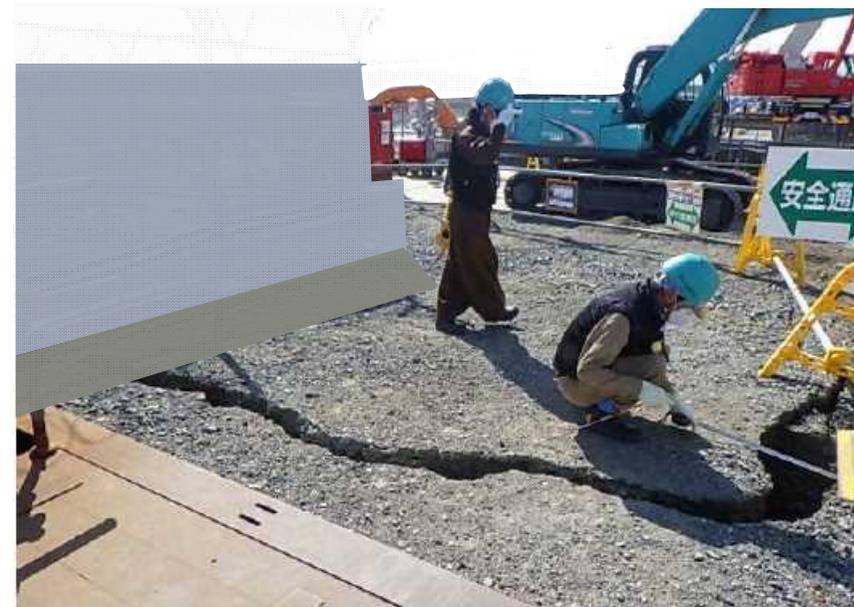
- 地震による設備の被害軽減を図るため、今度の工事進捗に合わせて適切な対策を講じてまいります。



工事実施箇所 位置図



写真① 地震後の地割れの状況（下流水槽近傍付近）



写真② 地震後の地割れの状況（下流水槽周辺付近）